

令和元年度第4回小串警察署協議会会議録

開催日時	令和2年2月19日（水） 13:30から15:00まで	
開催場所	下関市豊浦町大字小串191-1 小串警察署 1階講堂	
出席者	委員	大石正夫、前田敏道、西村透、和田由華、松尾優子 計5人
	警察署	署長、次長兼警務課長、会計課長、刑事・生活安全課長、 地域・交通課長、警備課長、警務係長、会務係員 計8人
議題	1 警察業務の推進状況 2 昨年の交通事故発生状況と本年の交通事故抑止対策について（協議）	
<p>1 会長挨拶</p> <p>本日は大変お忙しい中、お集まりいただき、御礼申し上げます。</p> <p>令和2年は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催予定であることから、日本全体がお祝いムードになっているが、一方で、昨年は台風や大雨による災害が発生して莫大な被害を受け、更にこの冬に至っては、異常と言えるほどの暖冬状態が続いている。加えて、新型コロナウイルス感染症の蔓延等、地球全体の異常が感じ取れる状況にあり、大変憂慮する昨今にある。</p> <p>今回の諮問事項は、「昨年の交通事故発生状況と本年の交通事故抑止対策について」となっていることから、この協議会で皆さんの意見・提言を賜り、どのようにすれば悲惨な交通事故を1件でも減らすことができるのか考えることとしたい。</p> <p>2 署長挨拶 (省略)</p> <p>3 警察業務の推進状況</p> <p>平成31年1月～令和元年12月の業務推進状況について、以下の項目に沿って説明した。</p> <p>(1) 警務課・会計課関係業務</p> <p>ア 警察安全相談</p> <p>イ 広報活動</p> <p>ウ 遺失物・拾得物</p> <p>(2) 地域・交通課関係業務</p> <p>ア 110番受理状況</p> <p>イ トータルリスボンスタイム状況</p> <p>ウ 交通事故発生状況</p> <p>エ 交通指導取締り状況</p> <p>(3) 刑事・生活安全課関係業務</p>		

ア 全刑法犯認知・検挙件数、検挙人員

イ 特別法犯検挙件数、検挙人員

4 協議～昨年の交通事故発生状況と本年の交通事故抑止対策について

令和元年12月末現在の山口県内と小串警察署管内における交通事故発生状況と交通情勢を説明するとともに、小串警察署で推進中の交通事故抑止対策等の取組状況について説明した。

5 諮問事項に関する質疑応答

(次長)

警察では、交通事故抑止対策に全力で取り組んできたこともあり、昨年の交通事故発生件数は前年対比で減少したものの、同件数に占める高齢者の割合は非常に高い結果となるなど、今後の課題も見受けられたことから、委員の皆様から御提案や御意見をいただきたい。

(委員)

毎朝、小・中学生の通学路に立って交通立哨を行っているが、私が見る限り、自転車の通行マナーが悪いように感じている。社会人と思われる運転者が反対側の車線を行ったり、信号無視をしたりするところをよく見掛ける。

交通立哨では、地元の駐在所勤務員もよく立たれるが、その方がいないときに限って自転車の通行マナー違反をよく見掛ける。

(地域・交通課長)

成人に対して自転車の乗り方を指導する機会が無かったので、今後は、成人に対しても、機会あるごとに自転車の交通法規について説明を行ってまいりたい。

(署長)

パトカー等による「見せる活動」を積極的に行い、自転車による違反を見掛けた際は、直に注意を与えるようにしていきたい。

(委員)

道路上をマイペースで自転車に乗っている大人を見掛けることが多く、どう対処すべきか判断に迷う。その点、学生や子供に関しては、私が見る限りではマナーが守られていると思う。

(地域・交通課長)

自転車に対する取締りや指導を強化しているが、通行マナーが浸透していないのが現状である。自転車も車の一つであり、交通事故の被害者にも加害者にもなる可能性があることを認識させ、違反に対しては注意・指導を行ってまいりたい。

(委員)

最近、高齢者による運転免許証の自主返納が増加していることもあり、高齢者の自転車利用が増えているように感じる。私自身が車を運転する際は、自分の運転にも自転車の動きにも細心の注意を払っている。

(地域・交通課長)

自動車のドライバーに対する指導と並行して、自転車と歩行者に対する指導につい

でも強化することとしたい。

(委員)

社会福祉協議会が開催しているサロン活動の場において、交通安全出前授業を行っていただくことを希望したい。その際、対象者は高齢者となるので、授業の進め方を工夫していただいたり、体験を取り入れると集中力を維持することができるものと考え

(次長)

御意見を参考にして、聴講する方々の年齢等に合わせた資料の作成に配慮するとともに、授業の進め方についても工夫してまいりたい。

(委員)

高齢者が使用するシニアカーについて、車と同じ感覚で道路を走行される方が多いように感じる。シニアカーは歩行者と同じ扱いとなることを認識していないと思われるので、警察からもしっかりと指導を行っていただきたい。

(次長)

高齢者の方を対象として実施しているさまざまな講習会等を通じて、シニアカーの利用に関する交通ルールの周知と指導に取り組んでまいりたい。

(委員)

日々、パトロールをしていただいているおかげで、地区の主要道路だけでなく、脇道においても安全走行する車が目立つようになり、自転車による傘さし運転も見掛けなくなっただけのように感じている。

ちょっと話が変わるが、反射材の着用に関する広報啓発活動を強力に推進していただくことをお願いしたい。先日、まだ暗い早朝時間帯に、海沿いの道路を車で走っていたところ、手押し車を押しながら一人で歩いていた高齢女性を発見したが少し遅れたため、一瞬ヒヤッとしたことがあった。発見が遅れた原因を考えると、一つはロービームで走行していたことであり、こまめにハイビームに切り替えるべきだったと反省しているが、交通事故防止のためには、ドライバーだけが事故をしないように気を付けるのではなく、歩行者自身も反射材を着用して防衛手段を講じることが不可欠ではないかと感じた。夜間・早朝等の暗い時間帯に反射材を着用している歩行者が少ないと感じているので、地元住民に対して反射材の効果と着用の必要性について広報を行っていただきたい。高齢者の中には「自分だけは大丈夫」という思いが強い人もいるので、繰り返し情報を発信し、何度も説明して理解を得る必要があるように考える。

(次長)

今後も反射材の着用率が向上するよう、警察からも繰り返し情報の発信に取り組んでまいりたい。

(委員)

確かに、自転車に乗る人のマナーは悪いと思う。

現在、工事用信号機が設置されて長い区間にわたって片側交互通行が行われているが、同じ人が自転車に乗って工事用信号機を無視して進行しているところを何度も見掛けることがある。自転車は車ではないと勘違いしているのかも分からないが、正面から車が来たら事故が起きるのではないだろうかと驚いてしまう。

(署長)

そのような危険な運転をしている者に対しては、直接指導をしたいと考えている。次にそうした者を見掛けられた際は、110番通報を行っていただくか、小串警察署に通報していただくことをお願いしたい。

(委員)

我々の住む地区は、北部に位置する農村地域と比べて人口が多いこともあり、交通事故の発生も多いように思う。自分がいつ交通事故に遭っても不思議ではないという危機感を持ちながら、神経を集中して運転している一方で、高齢者が左右を十分に確認することなく、道路を横断しているところを何度も見掛けたことがある。道路横断中の交通事故を減らすためにも、道路状況と交通量を勘案して、適切な場所に信号機と横断歩道の設置をしていただきたい。

(次長)

随時、現場確認を行いながら、信号機の設置が必要と認められる場所については、警察本部に上申することとしたい。

(委員)

3月に閉校する小学校がいくつかあるが、建物の再利用について、まだ決まっていないと聞いている。しばらくは空き家状態となるらしいが、その建物の周りで何か事件が発生するのではないかと危惧しているので、校舎を含め、地区全体のパトロールの強化をお願いしたい。

(次長)

地区にお住いの方々の不安が解消されるよう、小学校周辺に対する警戒にも配慮したパトロールを行うよう指示する。

6 配付資料

令和元年度第4回警察署協議会資料（警察署作成）

7 次回警察署協議会の開催日程

次回の警察署協議会開催は、会長・各委員と日程調整をする。